



サポートブック「虹のかけはし」ご利用にあたって

サポートブックとは、お子さんや保護者の方が安心して生活をしていくために、身近な支援者（園や学校、関係機関等）にお子さんの特徴、行動パターンやその対応を伝えるためのツールです。

書き方に決まりはありません

☆まずは記入できるところから埋めましょう。

☆本人に関する様々な情報（特徴・接し方・支援方法など）を書いて、伝えて、ためていくものです。

☆関連する書類（診断書、検査記録、個別支援計画など）をすべて、なんでもここに綴じていくのもおすすめです。

大切にしまい込まないでください

☆大切な個人情報ではありますが、使ってこそそのツールです。

☆学校・保育園・幼稚園や利用する事業所に見せると、お子さんの教育や支援の参考になります。

☆成長・進学などで所属先が変わった時、災害時などの環境の変化への対応方法を伝えられます。

☆成長・支援・教育の記録を書きためておくことで、病院受診、年金申請、手帳取得等、お子さんの情報が必要な時に確認できて便利です。

「見せてください」と言われる前に積極的に提示してください

☆相手は、あなたがサポートブックを持っていることを知りません。「見せてください」と言われるのを待つのではなく、「見てください」と言って見せましょう。

☆サポートブックは、関係者や支援者に要求するためものではなく、参考にしてもらうためものです。特に新しい環境では、今までの支援がうまく引き継げるとは限りません。サポートブックを使って、関係者・支援者と継続的にコミュニケーションを取ることが大切です。

⇒裏面もあります

書くのに悩んだ時は…

- ☆文章はなるべく肯定形で書きましょう。(例:「～ができません」→「～すればできます」)
- ☆お子さんが見た時に、嫌な思いをするような内容でないか、配慮しましょう。
- ☆サポートブックはすべてのページを埋めなくてはいけないわけではありません。そして絶対に作らなければいけないものでもありません。
- ☆関係者や支援者がいれば、本人の様子を教えてください。家族の知らない、お子さんの姿があるかもしれません。
- ☆サポートブックは成長の記録でもあり、これまでお子さんがどんな形で「わかること」や「できること」を増やしてきたのかを知ることができます。

注意事項

- ☆この冊子は、お子さんの障害を認定したり、証明するものではありません。
- ☆この冊子は、おうちの方または本人が活用・保管してください。
- ☆この冊子によって、特定の福祉サービスが受けられるものではありません。また、この冊子によって、税金や公共機関、公共交通の割引等が行われるものではありません。

